

期待して
います

我如古イチローさん



衆院議員
赤嶺政賢



県知事
玉城デニー



県議会議員
渡久地修



参院比例
白川よう子



参院議員
高良鉄美



参院議員
伊波洋一

真地自治会
新垣 順子

医師
名護 宏泰

繁多川・元教員
大城 宏捷

上間・元琉大教授
屋富祖建樹

国場
比嘉 清恵

仲井真・医師
諸見川 純

繁多川・元教員
照喜名朝寿

上間・元琉大教授
加藤 祐三

識名
金城シマ子

真地・医師
安次嶺宏哉

繁多川・元教員
久高 将一

真地・元PTA会長
伊良波尚美

上間
大城 正吉

元衆院議員
古堅 実吉

元県会議員
外間 久子

元市会議員
嘉数 進

識名・医師
高嶺 朝広

イチロー 泣き笑い

大学時代、銀座まつりでエイサー

大東文化大学では、沖縄県人会5代目会長に。銀座まつりでエイサーを披露。医療生協時代には「エイサー愛好会」に所属。

東京でサラリーマン

6年間、東京で働く。満員電車、「嫌ならいつでも辞めろ」と怒鳴る上司。そのなかで、「ゆったり流れる時間」「となり近所のわかる地域の結びつき」など沖縄の良さを再発見。

沖縄へ戻り、医療生協に

わずかな現金を握りしめ「この分だけ薬をください」と話す外来患者。その医療を守るために、頑張っている日本共産党の人たちがいることを知り、「父(元市議)のやっていた仕事がわかった」と人生の転機に。「いのちを大切にする社会」こそ、イチローの原点。

看護師の妻と3人の子育て

看護師の妻・るみ子が夜勤のときには、ご飯やお風呂など母親代わりになって、3人の子育て。PTA役員もつとめ、子どもたちの成長をあたたく見守ってきました。

猫・カラオケ大好き

愛猫家で生き物へ優しいまなざし。カラオケの「歌声はプロ？」という人も。



略歴

●1958年真地生まれ。故我如古盛仁(元市議)4男。●城南小・石田中(8期)・豊見城高校(9期)・大東文化大学卒。●沖縄医療生協浦添クリニック事務長を歴任。●2001年那覇市議に(6期)。●真地小・石田中PTA会長を歴任、石田中50周年期成会会長。仲井真中学校区まちづくり協議会会員。●家族、妻・るみ子、子・1男2女。

オール沖縄で力あわせて
がんばります



7月20日
市議選

我如古

誠実・くらしの守り手

市議会議員

イチロー

日本共産党



沖縄民報

2024年6月15日号
発行…沖縄民報社 日本共産
党は那覇市議選の予定候補者と
見解を発表しました。那覇市前
島3の1の17 喜久山ビル3階
電話098-869-8108

くらしが一番、平和のなはを
消費税5%で12万円の減税を
大幅賃上げと医療・介護の危機打開
命どう宝——戦争の心配のない沖縄を

ご相談は☎098-853-6180 長田2-3-17丸正荘

「市民のお役に立つこと」こそ
私の変わらぬ信条です

がねこ
我如古イチロー

医療生協出身

医療・福祉の守り手

- 国保税均等割ゼロ
- 介護保険の負担軽減

私の父（我如古盛仁・故人）は、元市議で沖縄協同病院の建設に心血を注いだ人です。「庶民の病院をつくるんだ」と、家屋敷を担保に入れ夜遅くまで走り回っていました。私はその思いを引き継いで頑張っています。

国保税値上げ許さず

沖縄県だけ、国の国保交付金制度の欠陥で莫大な赤字に。

「国保財政の赤字分に対する法定外繰り入れを継続して、市民のために国保税の値上げ

をすることなく頑張るべき」

（2018年12月議会）——那覇市は、私の繰り入れ要求に応え、毎年10億円規模の繰り入れを行い、値上げをくい止めています。

介護保険料の軽減

「介護保険料の減免や、サービス利用料の減免・改善の要求がますます切実」（2001年9月議会）——初質問から介護保険の軽減を求めてきました。4年前、年2146円（基準額）引き下げに、昨年の改定期は据え置きになりました。



物価高騰対策
市へ緊急申し入れ



赤嶺政賢衆院議員を支えて



無料生活相談を続けて

市民の身近な相談相手

- 高齢者へバス・モ
ノレールの交通費
補助を

声を議会で取り上げて

「識名園の駐車場の敷地を活用した土産物店などが入居できる施設をつくることは、識名園の観光地としての発展、経

済の振興にも資するのではな

いか」（2018年12月議会）——私は市議会で提案。真地自治会と地元のパン屋さんとの共同売店が実現しました（写真右上）。

「たんぽぽ」で議会報告



党政策調査委員長

提案で市政うごかす

- 小学校と保育所などの給食費無償化



真地地域に消防出張所

「消防力の基準6分30秒の空白地域を解消を」（2005年6月議会）——20年前から消防力の強化をくり返し求めて、来年10月南部医療センター向かいに、消防出張所が建設に。

救急隊が8隊へ増隊

「平成14年、那覇市の救急車搬送件数は2270件、全国平均の941件の実に2.4倍出

動」（2005年9月議会）——救急隊の増隊を求め続けて、20年間で5隊から9隊へ増隊に。

学校トイレ洋式化

「3つあるトイレのうち1つしか洋式がないから取り合いに」（2024年6月議会）——小学校が88%、中学校が82%で、2025年度全小中学校完了予定です。



保革をこえた大同団結をよびかけ
オール沖縄のカナメ

辺野古埋め立てを認めた仲井真元知事。この裏切りに対して、私たち共産党は、「建白書の立場で、心一つに大同団結して、日米政府の基地押しつけをはねかえしていこう」（2013年12月議会）と呼びかけました。

オール沖縄の知事や、那覇市長、国会議員の誕生へ、誠実に力をつくしてきました。

戦後80年、父の口癖だった「命どう宝」の思いで、沖縄を戦場にさせないために、オール沖縄をしっかり支えます。